

農地利用意向調査の結果について

農地利用意向調査実施概要

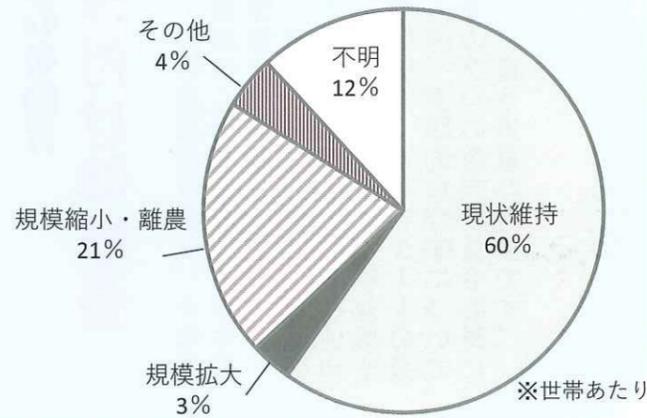
調査期間：令和5年12月～令和6年1月
 発送数：1,016通
 調査手法：郵送による配布回収
 回収票数：824票（回収率81.1%）

10年後皆さんの暮らす地域に 生きた農地が残っていますか？

小山町内に農地を所有している皆様につきましては、令和5年12月に実施した「農地利用意向調査」にご協力いただき誠にありがとうございました。
 本結果につきましては、「地域ごとの話し合いの場」にて共有させていただいているところではありますが、「農業委員会だより」にてより広く本結果をお伝えさせていただきます。

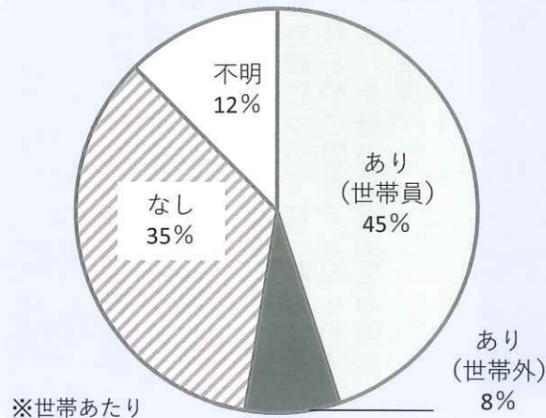
1. 今後10年間の農業経営意向

10年後には
約160件の農家さんが
 農業を辞めてしまう
 恐れあり！！



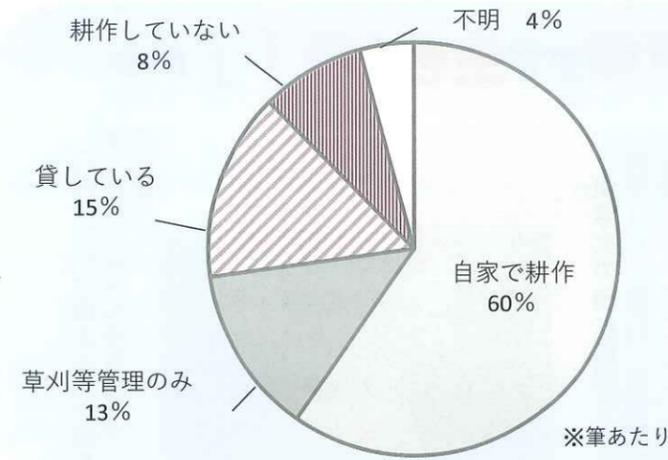
2. 農業経営に関する後継者の有無

農地を所有する世帯の
3割以上
 農業経営後継者がいない！



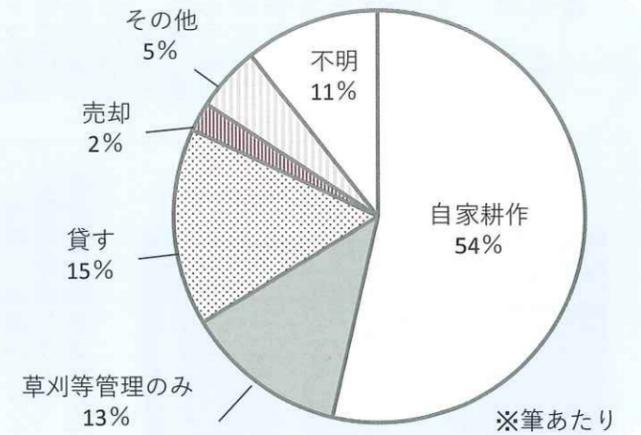
3. 現在の耕作状況は？

既に土地所有者の**4割**が
 自家耕作されていない状況に...



4. 農地の今後の利用は？

約3割の農地が
 耕作されなくなるかも...



地域の話し合いの場に参加してみませんか

農地利用意向調査結果をもとに、農地の管理状況等を示した地図を見ながら、皆で農地の現状を整理し、草刈りや水路の掃除など、地域のことで分擔していることや、困っていることについて話し合います。

これまで農家が個人で悩んできた「人」と「農地」に関する問題について、地域全体で話し合いを行います。

地域の皆さんで話し合う大切な機会です。

農家の方、農地をお持ちの方、その他地域の方の積極的な参加をお待ちしています。

地域の話合いの場に参加してみませんか

次回は令和6年6月頃！

訂正

令和5年12月に郵送させていただきました「農地利用意向調査票」に一部誤りがありました。つきましては、下記の通り訂正させていただきます。ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。引き続き本利用意向調査に係る個人情報の取扱いには十分に気を付けて参ります。

◆個人情報について

今回の調査でご回答いただいた情報につきましては、個人情報の保護に関する法律および小山町個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき適正に管理し、地域計画の策定及び実現のために利用いたします。

なお、小山町は、この調査をもとに整理・分析した情報について、次の関係機関（※1）に共有することになります。

本内容に同意する場合は、下記「同意する」にチェック☑をお願いします。

- 【訂正前】 ※1 関係機関：市町村、都道府県、農地中間管理機構、農業委員会ネットワーク機構、農業協同組合、土地改良区 など
- 【訂正後】 ※1 関係機関：市町村、都道府県、農地中間管理機構、農業委員会ネットワーク機構、農業協同組合、土地改良区

おやま 農業委員会だより



富士山頂と金太郎のまち おやま

トピック

- ▶ 新シリーズ **百姓をやって百歳まで生きよう!**
- ▶ 座談会を開催 **地域計画の進捗予定**
- ▶ 今年度計画 **こども園ファーム 初心者向け作付け体験会**
- ▶ 農地パトロールの結果 **再生利用困難農地の非農地化進捗**

今年もやります!

こども園ファーム

小山町内6つのこども園の畑で、サトイモとサツマイモを5月に植え付け、秋に収穫をする「こども園ファーム」事業を今年度も実施します。

農業委員会の委員が「畑の先生」として、各こども園に出向き、園児たちと一緒に、植え付けから収穫までを行います。収穫した野菜は食育の一環として給食等に提供されます。

この事業は、町教育委員会と町農業委員会が協力して実施しているもので、園児たちは委員と交流し、野菜づくりの体験を通じて、食べ物大切さ、収穫の喜び、野菜づくりの苦労等を学びます。



こども園ファーム

初心者向け 作付け体験会

小山町農業委員会は、今年度も農業初心者向けの野菜の作付け体験会を実施します。

小学生から大人まで、毎回好評のこの体験会は、町内在住の農業初心者を対象に、耕運機や鍬の使い方、マルチシートの張り方等、実践的な作業について、農業のプロの農業委員会委員に教えて貰う貴重な機会です。



初心者向け作付け体験会

さらに、作付け体験会参加者を対象に、収穫体験も行います。自分の作付けした野菜を味わってみてください。

参加料は無料、実施場所や日程等詳細については、町の公式LINEや広報等でお知らせ予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

新シリーズ 「百姓をやって百歳まで生きよう!」

町内の元氣な農家さんを紹介するコーナー! 第1回は湯船区の池谷國光さん、せい子さんご夫婦です。



池谷國光さん・せい子さん (湯船区)

中学生の時に農業を始めたという池谷國光さん。現在、自宅周辺の田んぼや畑は妻のせい子さんと、湯船原のトマトのハウスは國光さんが1人で農作業を行っています。「道の駅にトマトが出荷されるのを待っている人がいる。自分の作ったトマトが褒められるのは嬉しい。もっと良いものを作ろうという励みになる。農業の良いところは、明日何をやるか考えるだけでも楽しい。身体を動かすのが良い。今年もハウスでトマトを作りたい」と、希望を語ってくれました。実は國光さんはトマトが苦手で、作る専門の方です。せい子さんの楽しみは、近所の方のおしゃべり。井戸端会議が長引いて帰りが遅くなってしまいう事もあるようです。

池谷さんご夫婦の元氣の秘訣は「自分の好きな事をやる事」これからも、ご夫婦そろって元氣でいてください。

農地パトロールの結果報告

再生利用困難農地の非農地化

小山町農業委員会は、令和4年度から、がけ地や森林の様相を呈しているなど、農業上の利用増進を図ることが見込まれない農地(再生利用困難農地)を現況に適した登記地目に変更する「非農地化」を進めています。令和4年度には5・4畝を山林等の現況に適した地目に変更しました。

今年度の農地パトロールの結果、再生利用困難農地は約5・3畝存在します。

今後、非農地化に土地所有者の同意を得たうえで、農業委員会が地目変更登記を行います。

追悼 池谷弘様



去る2月1日、小山町農業委員会会長職務代理者、農業政策部会長の池谷弘様のご逝去されました。突然のご訃報に接し、農業委員会の大切な柱が抜けてしまった様に感じます。謹んでご冥福をお祈りいたします。

新職務代理者が決定

池谷弘前農業委員会会長職務代理者のご逝去に伴い、2月の農業委員会定例会で、新職務代理者に岩田和男委員が選任されました。

編集後記

猫の額の農地に、田植え機からコンバインと一通りの機械を揃え、農業に取り組んでいます。肥料代や燃料費が高騰する中、祖先から受け継いだ農地を守り、自ら育てた米を食する事は、今では贅沢な事かもしれません。国では、農業の成長産業化と農業所得の増大を進めています。町でも、農地利用意向調査を行うなど、十年後の未来に向けて、農業の基本的な方向を示す「地域計画」の策定に取り組んでいます。現在、座談会が開催されていますが、皆様のご協力をお願いいたします。

終わりに、(故)池谷弘さんの農業委員への熱き想いを引き継いでいけたらと思います。

池谷 和則

第2号編集委員

- (農業政策部会)
- 部会長 池谷 和則
- 部会員 高橋 謙
- 同 勝亦 政一
- 同 眞田 拓史

農業政策部会の佐藤道枝委員が3月付で農業委員を退任されました。

令和6年4月1日発行
小山町農業振興課内

山林化した農地

